

「HCV 関連肝細胞癌患者における M2BPGi 値の臨床的意義についての検討」の臨床研究へ のご協力をお願い

肝炎ウイルスの汚染地帯の一地域であるわが国は、世界的に見て肝癌発生の多発地域であります。肝癌の治療は日々進歩しておりますが依然として予後が悪い癌の一つです。肝癌の治療において病状を正確に把握し適切な治療を行うことが重要であり、肝臓の線維化というのが大事な情報の一つです。近年、M2BPGi という肝臓の線維化を血液検査で評価することができる新たな血清マーカーが開発されました。この血清マーカーは早期の肝癌の予後を予測するのに有用であることが報告されています。

当院では、肝癌発生状況の調査を 1999 年から毎年おこなっており、肝癌の情報を様々な形で報告してきました。M2BPGi は肝癌の病状を把握するために大事な情報の一つと考えていますが、新たな血清マーカーのため現在の肝癌の患者さんの結果のみでは数が限られるため、有用性を明らかにするのが困難です。

本研究では、1999 年から 2012 年に当院で肝癌と診断された患者さんについて、過去に保存された血液を用いて M2BPGi を測定し、その他の情報と合わせて解析し、日常の肝癌診療に役立てることを目指しています。その結果を肝臓学会などで発表、報告をおこなう予定にしています。

本研究は日常診療で得られた臨床データを集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は個人情報を持ち離して、個人が特定されない形で、厳重に扱います。

皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧されたい方、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒856-8562 長崎県大村市久原 2 丁目 1001-1

国立病院機構長崎医療センター 肝臓内科

戸次 鎮宗

☎ 0957-52-3121 (代表)